

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	よつ葉乳業株式会社 加須物流センター	階数	地上3F
建設地	埼玉県加須市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	59人
地域区分		年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2017年10月12日
敷地面積	13,406 m <sup>2</sup>	作成者	鈴木
建築面積	2,336 m <sup>2</sup>	確認日	2017年10月12日
延床面積	4,832 m <sup>2</sup>	確認者	鈴木



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	138 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
②建築物の取組み	46 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
③上記+②以外の	92 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
④上記+	138 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

音環境	2.6
温熱環境	2.2
光・視環境	2.0
空気質環境	3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.8
耐用性	3.1
対応性	2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	2.0

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.7
効率的	2.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

水資源	3.9
非再生材料	2.4
汚染物質	2.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.7
地域環境	3.0
周辺環境	2.5

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地周辺に緑地帯を設置し、周辺環境に配慮しております。冷蔵倉庫の為、断熱性に優れた外壁材等を使用し、空調設備エネルギー消費量を最小限に抑えた計画としております。	0
<b>Q1 室内環境</b> 外部サッシに複層ガラスを採用し、外部からの熱負荷を軽減し、室内空調のエネルギー消費量を削減出来る様に計画しております。	<b>Q2 サービス性能</b> 休憩室を設け、作業員の休憩スペースとして活用出来る計画としております。
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地周辺に緑地を設け、建物と自然環境が一体となった景観計画としております。	
<b>LR1 エネルギー</b> 照明にLEDを採用し、消費電力の低減化を計画しております。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 建材にホルムアルデヒド発散等級を、規制対象外及びF☆☆☆☆を採用し、汚染物質含有材料の使用を回避しております。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内に乗用車及び、荷捌き用駐車場を設置し、敷地外道路の交通渋滞や、待機車の発生を防ぐよう計画しております。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される